

簡易版 TP（ティーチング・ポートフォリオ）

氏名	松浦 宏治
所属機関名	生命科学部・生物科学科
職位	教授
在籍年	10 年

教育の責任

私は 2022 年度より、生命科学部生物科学科での指導を行っている。本学科ではバイオテクノロジーを基盤として、分野の体系的な専門知識と技能を修得し、論理的思考能力や問題発見・解決能力、倫理観、国際性を身につけ、持続可能で豊かな社会の実現を目指す様々な分野で活躍できる人材を養成する。私は複数の講義科目、実験科目、卒業・特別研究の指導を担当している。

教育の理念

大学・大学院での教育は、すべては将来形成のためのキャリア構築が目標であると私は考えている。時代のニーズに適合させることが可能な研究者・技術者を育成することを目指す。特に数理基礎学問分野に関する理解が必要となる。この能力を発現するためには言語化プロセスが必要となる。英語を活用する能力の獲得も進める。研究室配属後に与えられた研究課題の解決や就職後の業務を滞りなく遂行できるとともに、業務変更があった際にも応用力・適応力を発揮できるよう指導する。

教育の方法・方針

学部学生においては、生理学、生化学、生物物理学に係る講義によってそれまでの基礎科目に関する知識について、生命現象を実例にとって説明する。基本的には知識伝授型の科目であるために、講義時間のうち教員の説明時間が殆どである。説明時間を確保するため、演習は課題で行い、その課題答案は LMS での提出を依頼している。そのとき、個々にフィードバックすることを心掛けている。最近は VOD コンテンツアーカイブの活用や選択式テストセットの活用も進めている。

教育の成果

VOD と資料中心で講義したところ、「この講義の動画はとても分かりやすかったです。」とのコメントがあった(1)。対面授業参観において、「図を用いて原理・構造などについての説明が分かりやすく、効果的であると感じた。特段改善すべき点は見受けられないように思われる。」との同学科の他教授からコメントが得られた(2)。

今後の目標

- ・担当科目においては、代謝や分化などの生命システムの分子レベルでの作用機序を正確に履修者が説明できるような指導を行う。学習順序としては、選択問題の反復演習、生命システムの言語化、研究課題解決への展開を進める。そのための学習スキームおよびコンテンツを開発する。
- ・バイオインフォマティクス技術者試験に合格できるよう、その試験対策を準・非正課教育として行う。試験内容は大学院生レベルであるが、生命情報分野の知識と技術は研究を進めるう

えで役立つ場合があるために、希望する 3 年次生以降の学生に指導する計画である。初めはローコードでの指導を行う。

根拠資料

学生の授業アンケート(1)、教員の授業参観記録(2)、YouTube 限定公開でアップロードした VOD コンテンツアーカイブ一覧、岡山理科大学紀要(2017, pp. 117-123, 2023 pp. 25-33)、岡山理科大学教育実践研究(2020, pp. 9-28)、教育改革実践事業 (2024, 2025 年度)